



<第二時限> (※1～2は身近な素材の活用と特に関連の深いもの)

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
製 作 ・ 実 験		<p>7 ① ばねの自作や実験装置の製作、おもりを持ちよることにより、意欲をもって実験に取り組むようにさせたい。</p> <p>15' ⑤ ばねののびの増えかたを予想させながら実験をし、記録をとるようにさせたい。</p> <p>⑥ 一人一人に実験させるようにさせる。</p> <p>⑦ ばねののびの増えかたが極端にちがう場合は、もう一度測定させる。</p>	
	検 証		<p>20' ⑨ グラフの書き方について説明する。また、測定値には誤差があることに気づかせる。</p> <p>⑩⑪ 点の並び方からどんな線を引きたいかを考えさせ、折れ線では結ばないようにさせる。</p>
ま と め		<p>8 ⑬ 比例関係のグラフの形、グラフの意味(つるすおもりの重さを2倍3倍にすると、ばねののびも2倍、3倍になる)を確実に理解させたい。</p> <p>⑭ 下位、中位の生徒に発表させ、どの程度理解されているか把握する。</p> <p>⑮ 理解されていない場合は、具体的数値を入れ考えさせたい。</p>	